女川民報

日本共産党女川町委員会の見解と政策を紹介します。

2012年
5月号

日本共産党
女川町委員会

高野　博
53 - 3614
阿部律子
54-2562
ご意見・ご要望などをお寄せください

女川原発の再稼働に反対しましょう

福島のような惨事はゴメンです

津波で破壊しつくされた
女川原子力オフサイトセンター

稼働ゼロから原発ゼロへ

5月5日、北海道電力の泊原発3号機が定期検査のため運転を停止し、国内50基の原発がすべて止まりました。

「日本の原発は過酷事故を起こさない」と安全神話をふりまいてきた国と電力会社、御用学者に対する根深い不信感が広がる中で、大飯原発の再稼働反対の運動がすすめられています。

女川原発は外部電源5系統のうち1系統だけでかろうじて冷却、津波はわずか80センチの差で難を逃れました。

福島の事故と紙一重です。しかし　1年たち、海に山に放射能の汚染が広がっています。

地震が頻発する三陸沖、また直下型地震も本当に心配です。

女川原発を再稼働させないために、署名運動にご協力ください。

引き続き救援活動を行っています

私たちは全国の支援とボランティアの協力で、震災救援活動を行ってきました。今年に入ってからも、4月28日、災対連共同センター（県労連、農民連、民医連など）が女川の総合体育館前で青空市を行い、お米や日用雑貨、衣類品等を提供、弁護士や医師、看護師、一級建築士などの専門家によるなんでも相談会も行いました。

5月3、4日は目黒区の共産党後援会の方々が支援に入ってくれました。これからもがんばります。

4月28日の青空市

コミュニティを大切にした復興を

私たち日本共産党町議団は、同僚議員と力を合わせまず第一に、従来の地域のコミュニティを大切にした復興計画を掲げてきました。これは阪神大震災の教訓です。第二に被災者に寄り添った行政を求めてきました。特に町内の仮設住宅を希望される方々が今でも100人を超える数といわれます。ぜひ町内に迎えたいものです。第三に生業が成り立つように、仮設の工場の建設など急ぐべきです。第四に復興公営住宅はできるだけ払い下げのできる戸建も検討し、自立再建の方へ町の独自支援策の充実を求めます。第五に、町民全体が復興計画に参加できるよう地震被害や地盤沈下への対策、被害を受けた町道の整備なども重視すべきと要請してきました。

力を合わせ頑張ります

日本共産党は、消費税増税に反対するだけでなく、それに代わる財源をしめす抜本的な対案を発表しました。

この「提言」を掲げ国民の暮らし守るため頑張ります。

高橋ちづ子衆議院議員

阿部律子町議

髙野博町議

3月定例会

３月定例議会は３月１日から１４日まで１４日間開催されました

デマンド交通の復活を

企画課長「3年後に検討します」

阿部律子町議の一般質問

震災後、無料巡回バスが運行され多くの皆さんから喜ばれていますが、一方で震災から一年がたち、大型バスを利用客が少ないのに走らせているのは税金の無駄使いではとの指摘もあります。

またバス停から遠く、足の不自由な方々のためにも以前のようなデマンドタクシーを復活してはどうですか。

答　国の補助事業により３年間継続しますが、今後はルート変更やバスの小型化に配慮し、デマンドは3年後に検討します。

女川原発は撤退を

復興計画を進めるにあたって、原発は復興の足かせになっているのでは。女川原発が重大事故まで紙一重だったことを真剣に議論し、住民の皆さんと共に考える重要課題です。風評被害や放射能汚染への心配は尽きません。危険な原発からは撤退し、原発のゼロの町づくりを。

答　国が安全性の基準を示すべき。今はわが町がどう対応していくか語る段階ではない

平成二十四年度一般会計に反対

復興計画の努力をされていることは評価しつつも、原発は復興の足かせになっており、自然エネルギー強化がうたわれても具体策が見られません。

後期高齢者医療特別会計に反対

被災者の生活が大変な中、平均３・０７％の値上げです。毎年年金が減らされ、２年ごと保険料が値上げされる制度はそもそも廃止すべきです。

給食の検査を

高野博町議の一般質問

子どもを放射能から守ろう

一年たっても放射能汚染は広がる一方です。昨年の３月１３日夜、女川の上空を放射能雲が通過しました。その時、東北電力は敷地内の体育館に避難した住民や女川町民にどんな放射線防護の指示をされたのですか。ヨウ素１３１の汚染が心配です。また、子どもを守るため給食の検査をすべきです。

答　当時放射線防護の指示はありませんでした。

また、給食の検査は希望があれば県が実施するとのことで、本町でも検討します。

特別委員会に町が公表

被災地買い取り鑑定参考価格

地区	修正率	１㎡あたり
鷲神	80%	10,400～31,100円
小乗	80%	6,560～12,300円
女川	80%	10,100～30,400円
清水	80%	4,440～14,600円
宮ヶ崎・石浜	80%	4,050～25,500円
五部浦	75%	3,000～4,130円
北浦	75%	3,600～3,980円
出島	75%	2,100～2,480円

保育の拡充を

健康福祉課長「今年から十八歳以下三人目の子どもの保育料を無料に」

民主党政権の「子育て新システム」は、保育所への公的責任を放棄し、企業等にゆだねる方針ですが、従来の町の保育行政を守り拡充すべき、ただしました。

ひろば

▼よかったこと３つ▲

○新田仮設住宅でスロープのある住宅に風除室が設置されました。

○後援会でバスツアー

今年は大河原の一目千本桜と丸森の斉理屋敷。バス２台７４人の参加でした。

○運動公園の桜も本当にきれいでした。